

ゼミ長の在り方

私の大学生活は、コロナ禍とともに始まりました。入学当初はオンライン授業が中心で、キャンパスに足を運ぶ機会も限られていました。サークル活動もほとんど行われず、友人を作る機会も少なく、気がつけば親しく話せる相手は数えるほどしかいませんでした。そんな閉塞感のある大学生活の中で、大きな変化をもたらしてくれたのがゼミでした。私が選んだ首藤ゼミは、これまで経験したことのないようなグループ課題やプレゼンテーションに取り組む機会があり、自然と仲間との関わりが深まっていきました。ゼミは単なる学びの場ではなく、私にとって大学生活の中心となる存在になりました。

そして、14人いるゼミ生の中で、私はゼミ長に選ばれました。しかし、正直なところ、最初は「ゼミ長とは何をするべきなのか？」ということがよくわかっていませんでした。指示を出す役割なのか、みんなをまとめることが求められているのか、あるいは何か特別な責任を果たさなければならないのか——明確な答えは見つかりませんでした。そんな中で私が導き出した一つの答えは、「誰よりも意欲を持ってゼミに取り組むこと」「誰よりも多くゼミの活動に参加すること」でした。ゼミ長だからといって、特別なスキルが必要なわけではありません。ただ、どんな活動にも積極的に関わり、ゼミのメンバーがより良い環境でゼミを行うことが出来るように努力することが、ゼミ長としての役割なのではないかと感じました。背中でみんなを引っ張る——そんな存在になれたらと思いながら、日々ゼミ活動に向き合ってきました。

振り返ると、ゼミの活動を通じて得たものは計り知れません。プレゼンの練習を重ねたことで伝える力が鍛えられ、議論を交わす中で多様な考え方に触れ、何より、信頼できる仲間と出会うことができました。あの時、この首藤ゼミに飛び込んでいなかったら、今の自分はいなかったと断言できます。このゼミに所属できたこと、そしてゼミ長という役割を任せてもらえたことに心から感謝しています。

ゼミは、ただの授業の延長ではなく、自分自身を大きく成長させてくれる場所です。ぜひ思い切って飛び込んでみてください。そして、ゼミの活動を本気で楽しんでください。きっと、かけがえのない経験が待っているはずです。首藤ゼミの卒業生が、今後の日本、いや世界を支えられる存在になれるよう「学びも遊びも全力で」取り組んでいきましょう！

2025年3月15日

首藤ゼミ第4期ゼミ長

太田 龍之介